



増設中の第二清掃工場

## 第二清掃工場

# 4月から運転開始

### 美観を配慮したワンビル方式

増設中の第二清掃工場（五貫島）が、し尿処理専門工場として4月から運転開始になります。

現在、市内のし尿処理は、久保町



沈砂分離装置

の第一清掃工場と五貫島の第二清掃工場で行っています。

1日の処理能力は、第一工場が90割、第二工場が110割です。

しかし、第一工場の処理施設が老朽化したため、市は第一工場をごみ処理専門工場に、第二工場をし尿処理専門工場にすることとしました。

このため、第二工場へ最新鋭のし尿処理施設を増設しました。

### 今までのイメージを一掃

増設事業は、昭和54年12月から始められ、今年の3月完了予定です。

総事業費は13億4,400万円。

建物は、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り、延べ床面積4,308平方メートルあります。

施設の処理能力は、1日80割で、現在の施設と合わせると1日190割になります。

特徴としては、し尿の汚泥を堆肥化する施設も備えています。

建物全体としては、今までのし尿処理場のイメージを一掃し、1次・2次汚泥処理設備など、すべての施設を建物の中に入れてしまうというワンビル方式をとっています。

公害防止対策にも十分配慮し、周辺に住む人たちの健康と生活環境を守ることを最優先させてあります。



## グループ訪問 38

## 豊かな映像文化を

### 富士親と子のよい映画をみる会

「青少年の非行や暴力が低年齢化し増加もしている現状に胸が痛みます。それだけに私達の運動は重要だと思っていますし、もっと広げていきたい」

2児の母親でもある会長の植松のぶ子さん（36歳）ははっきりとした口調で語ります。

『子どもの心に愛と希望！知恵と勇気を！親子で楽しくみる映画』を合言葉に、全国的な親子映画運動の中で富士市にも昭和52年6月に創立され、すでに7回の名画を上映してきました。次の取組みは「青葉学園物語」3月8日に市民会館での成功をめざし大忙し。

「人手が足りなくて」「常設館がほしいワ」「上映に



▲次回上映を準備するお母さん達

ついて学校も含めて多くの理解を得るようにしたい」宣伝チラシの仕分け作業をしながら運営委員のお母さん達から熱っぽい言葉が次々と飛び出してきました。

連絡先 石坂市営B棟302植松方 ☎ 51-5920